

# 参考マニュアル

2024年5月作成

使用環境やバージョンアップにより表示画面や記載内容が変わる場合があります。

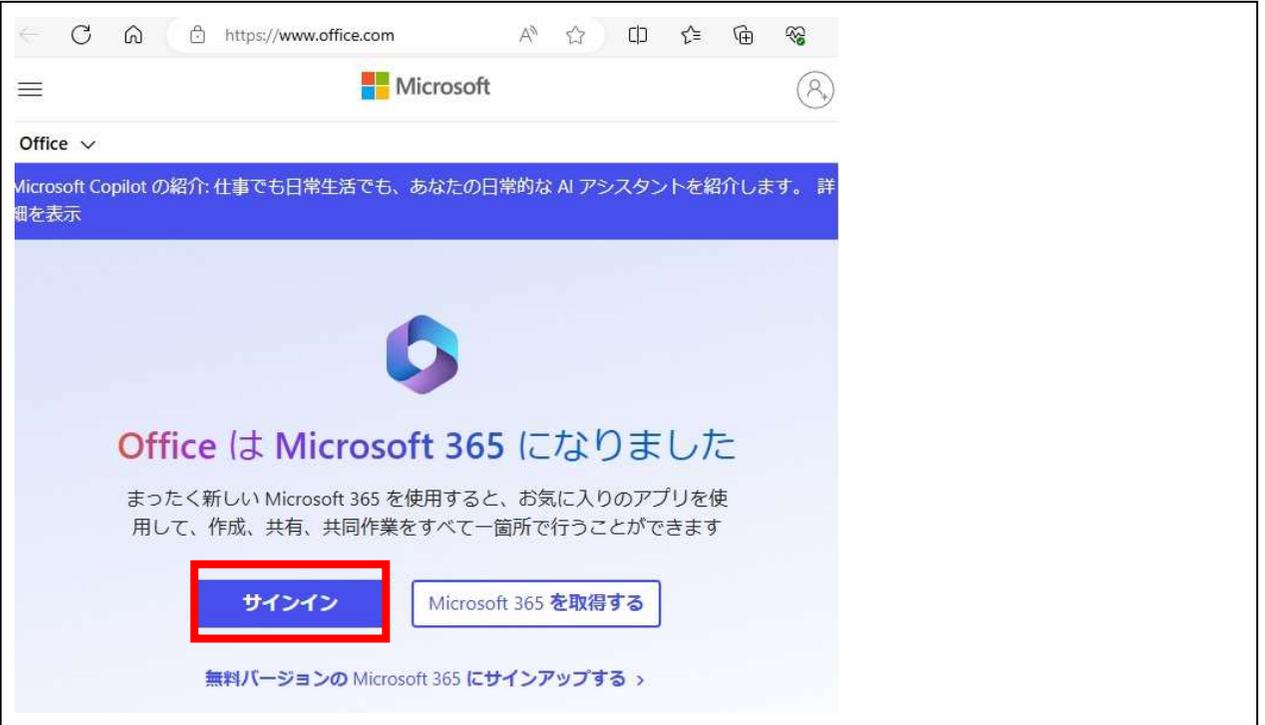
## Microsoft365 インストール方法

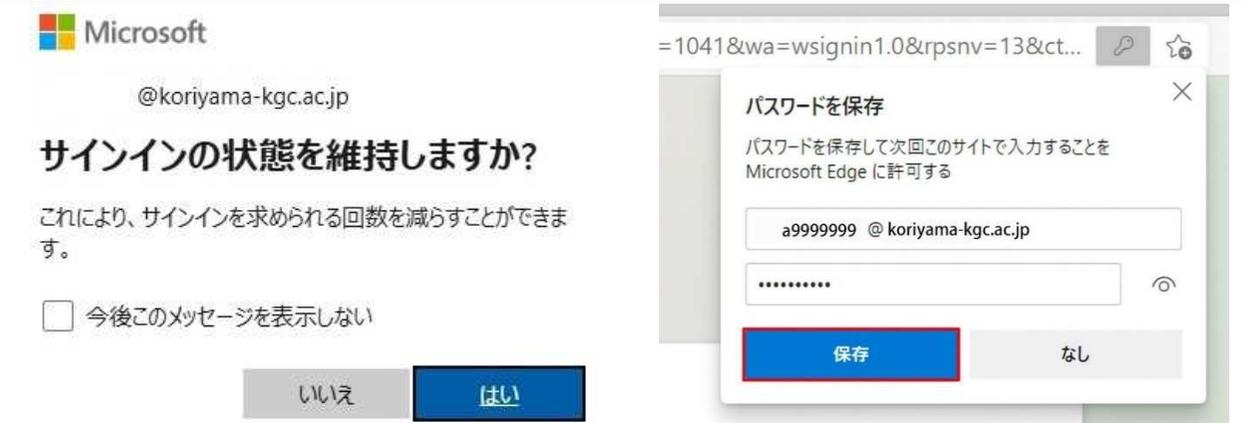
- 他の人と共用する情報端末には利用できません。

（ライセンス違反の例）

家族で共用のパソコンや他校の友人が利用するパソコンに、自分自身の本学園発行の Microsoft アカウントで Microsoft365 をインストールする。

- 卒業や転学により、本学園の構成員でなくなるときは、インストールした Microsoft365 は利用できなくなるため、アンインストールするか、別途購入した Microsoft365 Personal 等のアカウントに切り替えて利用してください。

<p>1 Web ブラウザで「Microsoft365」と検索します。（ここでは、Microsoft Edge を使います）</p> <p>検索結果から「ログイン  Microsoft 365」などを選択します。見つからない場合は、以下の URL を参照してください。</p> <p>Microsoft365 (<a href="https://www.office.com">https://www.office.com</a>) の Web ページにアクセス後、「サインイン」を選択して、学校から配付されたアカウントでサインインします。</p>	 <p>The screenshot shows the Microsoft Office website in a browser. The URL is https://www.office.com. The page features the Microsoft logo and a navigation menu. A blue banner at the top promotes Microsoft Copilot. Below this, the main heading reads 'Office は Microsoft 365 になりました' (Office is now Microsoft 365). Underneath, there is a sub-heading: 'まったく新しい Microsoft 365 を使用すると、お気に入りのアプリを使用して、作成、共有、共同作業をすべて一箇所で行うことができます' (Using the brand new Microsoft 365, you can create, share, and collaborate on everything in one place using your favorite apps). Two buttons are visible: 'サインイン' (Sign In) and 'Microsoft 365 を取得する' (Get Microsoft 365). The 'サインイン' button is highlighted with a red rectangular box. At the bottom, there is a link: '無料バージョンの Microsoft 365 にサインアップする &gt;' (Sign up for the free version of Microsoft 365 &gt;).</p>
--	---

<p>2 ※右のような画面が表示された場合、どちらを選んでも構いません。</p> <p>「はい」を選択すると次回以降メールアドレスとパスワードの入力が不要になります。</p> <p>「保存」を選択すると Web ブラウザにパスワードが保存されます。</p>	
<p>3 初回サインイン時は、チュートリアル画面が出ます。右向き矢印を何度か選択した後、ポータル画面に移動します。</p> <p>※チュートリアル画面が出てこない場合もあります。</p>	

<p>4</p>	<p>Microsoft 365 にサインイン後、ホーム画面右上にある [Office のインストール] → [Microsoft 365 アプリ] を選択してインストーラのダウンロードを行います。</p>	
<p>5</p>	<p>インストーラのダウンロードが終わると、インストールの実行に関する操作を求められます。[実行]を選択し、インストール作業を開始します。 Microsoft 365 のダウンロード／インストールができない場合があります。原因のひとつとして、以前、Office をインストールしたときのファイルなどが PC に残っていることにより、Microsoft 365 のダウンロード／インストールやアンインストールに失敗することが考えられます。</p>	
<p>6</p>	<p>ダウンロードされたインストーラを、ブラウザの右上 (MS-Edge の場合) またはダウンロードフォルダから開いてください。</p>	

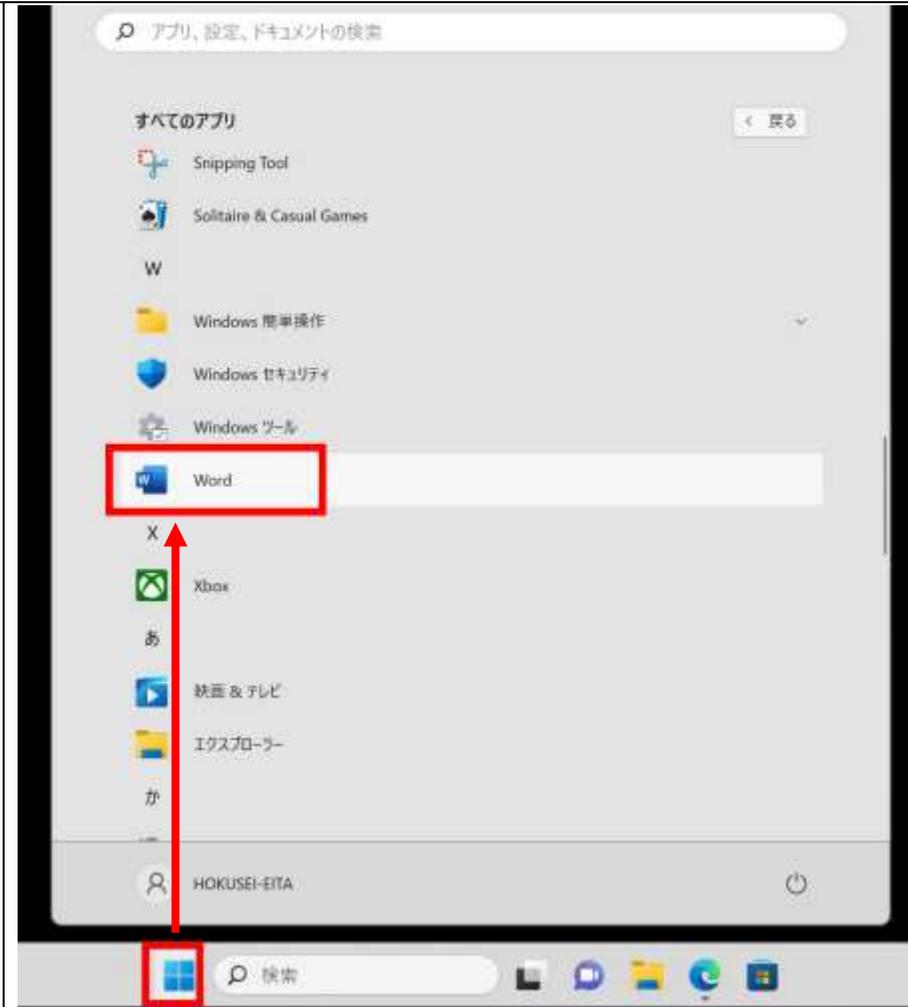
7	<p>右図のようなユーザーアカウント制御の表示が出た場合は「はい」を選びます。</p>	
8	<p>利用している端末にインストール作業が始まります。インストールが完了するまでしばらく待ちます（15～30分前後）。</p>	
9	<p>「準備ができました。Office アプリがインストールされました。」が表示されれば、Microsoft365 のインストールは完了です。「閉じる」を選択して、インストーラを終了します。</p>	
10	<p>引き続きライセンス認証を行ってください。 ※後日の実施でも構いません。</p>	

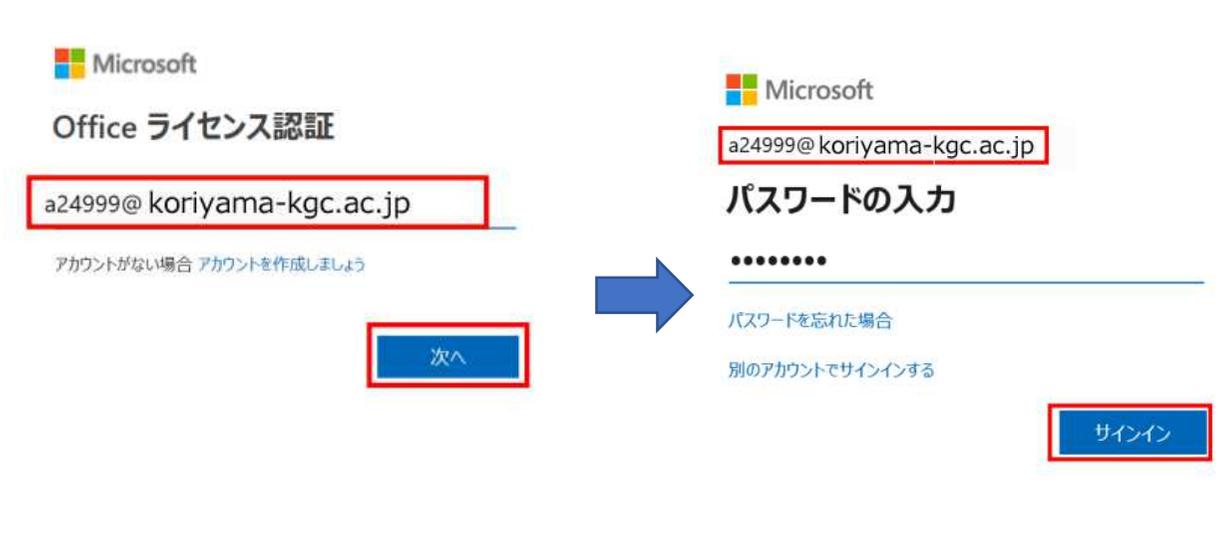
## Microsoft365 のライセンス認証手順

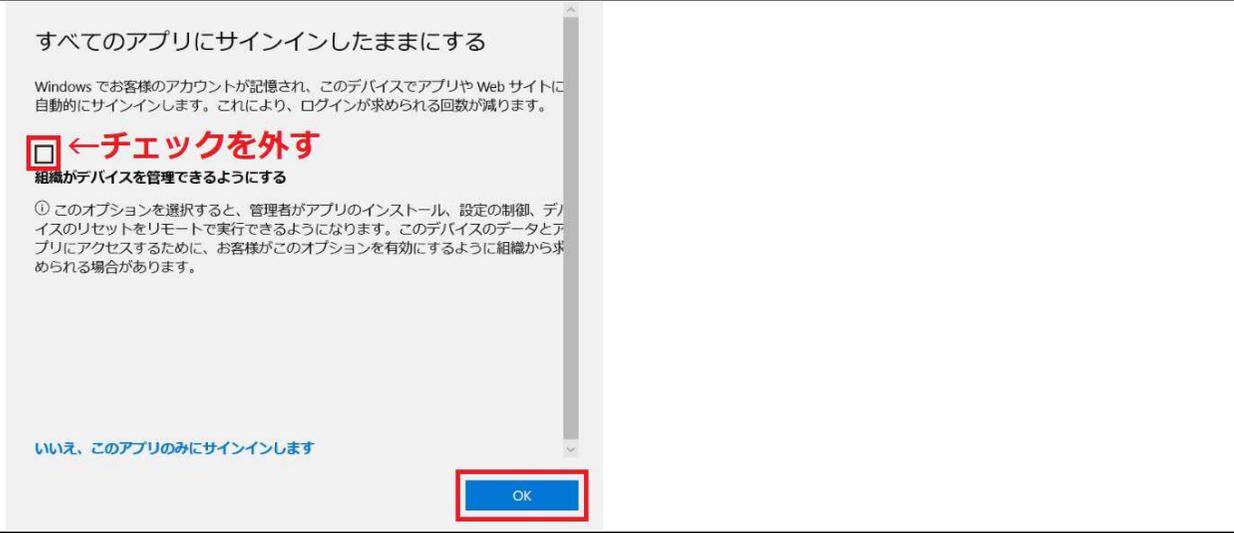
利用する情報端末に Office をインストール後、 Word 等を初回起動した際にライセンス認証が求められるので、以下のとおり学園メールのアカウントとパスワードを入力し、サインインしてください。

インストールした Office は、インターネット経由で 30 日ごとにライセンス認証の確認が行われます。通常は自動的に行われるため、特別な操作を行う必要はありません。（30 日以上オフラインのままだとライセンス認証されず、Office は「機能制限モード」になり、表示や印刷しかできなくなります。）

- 1 スタートボタン（Windows ロゴマークのボタン）  
→ アプリ一覧から「Word」を探し、起動します。  
（Excel, PowerPoint でも可）



<p>2</p>	<p>アプリ起動時に「サインインして、このアカウントで（Office アプリ名）のライセンス認証を行う」画面が表示されたら「続行」をクリックします。                  (例) Word 起動時画面</p>	
<p>3</p>	<p>「Office ライセンス認証」画面で、Office365 にサインインするメールアドレスとパスワードでサインインします。</p>	

<p>4</p>	<p>画面の案内に従い、進みます。</p> <p>「すべてのアプリにサインインしたままにする」画面が表示されるので、「組織がデバイスを管理できるようにする」のチェックを外して「OK」を選択します。これで Office アプリインストール完了です。</p> <p>※チェックを外し忘れても後で設定変更できます。</p> <p>※チェックを外さなかった場合「問題が発生しました」（エラーコード CAA50024）の画面が表示されることがありますが「完了」を押してください。そのまま問題なく使用できます。</p>	 <p>すべてのアプリにサインインしたままにする</p> <p>Windows でお客様のアカウントが記憶され、このデバイスでアプリや Web サイトに自動的にサインインします。これにより、ログインが求められる回数が減ります。</p> <p><input type="checkbox"/> ←<b>チェックを外す</b> 組織がデバイスを管理できるようにする</p> <p>① このオプションを選択すると、管理者がアプリのインストール、設定の制御、デバイスのリセットをリモートで実行できるようになります。このデバイスのデータとアプリにアクセスするために、お客様がこのオプションを有効にするように組織から求められる場合があります。</p> <p>いいえ、このアプリのみにサインインします</p> <p>OK</p>
<p>5</p>	<p>「ライセンス契約に同意します」の画面で「同意する」を選択します。</p> <p>これでライセンス認証は完了し、Office アプリを使用できます。</p>	